



西中だより

教育目標

豊かな人間性を培う
創造 自律 敬愛 健康

令和8年2月26日発行

第11号

「つながる」

余市町立西中学校長 豊田 一正

令和7年度も残すところ1ヶ月ほどになりました。3年生は私立高校一般入試、公立高校推薦入試も終わり、3月4日の公立高校一般入試が近づいてきました。体調管理に気をつけ、当日は今までの努力の成果が発揮されることを期待しています。また、3年生の教室にある卒業までのカウントダウン表が後10日ほどになり、入試が終わるといよいよ卒業を迎えることとなります。1, 2年生は学年末試験が終わり、「ほっ」としていることと思いますが、これまでの自分をしっかりと振り返り、進級に向けての準備を進めてくれることを期待しています。

3月13日には第78回卒業証書授与式が行われます。3年生には厳粛な雰囲気の中にも温かみや感動があり「さすが3年生」という姿、そして、3年間を振り返り、自分の頑張りや成長を感じるとともに、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを感じてほしいと思います。また、1, 2年生は1年後、2年後の自分の姿をイメージしつつ、これまでお世話になった3年生への感謝と敬意を表す気持ちで式に臨んでほしいと思います。心のこもった校歌や式歌も期待していますので生徒の皆さん、よろしくお願いします。

さて、今では中学校卒業後はほぼ全員が高校へ進学しますが、中学校卒業は同時に義務教育の終了でもあります。ということは、社会に出て行く基礎は中学校卒業までに身につけておかなければならないことにもなります。こう考えると少し不安な気持ちになるのですが、保護者の皆さんはお子さんを見てどうでしょうか。また、ここ数年は想定外のことが起こったり、多様化や情報化が急速に進み社会はめまぐるしく変化しています。こうした先が見通しづらい時代を生きる子どもたちには、心身ともにたくましさを持つ大人になってほしいと願っています。そして、学校は子どもたちに、自分で考え、判断する力、仲間と協力する姿勢や粘り強さなど、これから使える力を身につけさせなければならないと考えています。



こうした時代を生きる子どもたちに大切なことは何だと思えますか。私は「力を合わせていく姿勢（連携）」が大切だと思います。学校、家庭、そして、地域が総がかりで子育てに取り組む姿勢です。学校ができること、難しいこと、家庭ができること、難しいこと、双方向でできることを確認し、課題などを共有することが大切だと思います。そのためにも、先生や親同士のコミュニケーション、子どもとの会話を通して学校の様子を把握したり、積極的に学校へ足を運んで様子を見たり、雰囲気を感じる事が大切だと思います。様子や状況がよくわからないのに連携はできないからです。また、今後は地域の役割もより大きくなると思います。先生や保護者だけでなく、地域の大人が子どもたちを見守り、褒めたり、時には指導するなど、できるだけ多くの大人が子どもたちのことを考え、関わることが大切になります。

また、子どもの考え方に対して、大人の妥協しない姿勢も大切だと思います。「子どもが言っているから・・・」ではなく、子どもの話をよく聞き、よく話し合った上で、大人が持つ見通しや人生経験からアドバイスや判断をしてあげることです。そして、時には子どもに賛同したり、時には子どもの背中を押してあげることが必要だと思います。

子ども一人ひとりの健やかな成長は、保護者、教職員、地域の皆様の共通の願いです。今後も皆様とのつながりを大切に、様々な角度から子どもの成長を見守り、子どもたちが自分の良さを感じながら伸び伸びと生活できる環境を整えていきたいと思っています。今後とも皆様の温かなご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。